

郷土の歴史 363

八潮の地名考

南川崎の地名 その由来



川崎 現八潮市大字南川崎の俗称地名。

川崎は、中川(古利根川)右岸の沖積地に位置し、自然堤防上に近世集落が発展する。地名の起立は、利根川(古利根川・現中川)の曲流に因むと言われる(八潮の民俗資料三)。

記す史料は、この鎮位牌のみで、近世後期の製作である。位牌には、天正16年(一五八八)正月、野口遠近宗親の二男野口時左衛門藤原宗安、岩槻ノ城主太田十郎源氏房公二仕へ而、天正十六戊子正月、土寇乱ヲナス、依テ川崎ノ郷ヨリ領主ニ訴フ、使宗安討テ平之欣慕其德推里正トナル、遂ニ川崎ノ郷ニ住ス」と記される。

の川津(河戸・川の港)が発展していたところと推測される。川崎村 八潮市大字南川崎の近世初期から明治12年までの村名。川崎村は、小田原北条氏滅亡後の天正18年(一五九〇)より徳川氏支配を受け、その後徳川幕府の直轄地となる。検地は、慶長年間(一五九七)と寛永4年(一六二七)に受け、慶長年間(一六二七)の再検地(後貞享元年の再検地)分を古領、寛永検地を新領と呼称される。新領は、寛文4年(一六六四)から松平民部少輔領、延宝6年(一七二八)から堀田筑前守領、貞享2年(一六八五)から松平日向守領、元禄7年(一七〇〇)から松平伊豆守領、元禄11年(一七〇六)から幕府領となり代官支配地となった。また古領は、寛文10年(一七〇七)に土井能登守領となり天和2年(一六八二)に幕府領に復し、貞享元年(一六八四)に再検地を受けた。

いわれ、貞享元年(一六八四)検地では高二五七六斗七升二合、反別二七町七反一〇歩、寛永4年の新領分は名主七郎兵衛が管轄し七郎兵衛組とよばれ高二一八斗八升四合二合であった。川崎村高は四三七五斗一升四合、反別四町七反二畝一三歩、年貢除地は元禄10年(一六九七)から専称寺境内が一四四畝七歩、円楽寺境内地五反があつた。享保16年(一七三二)に見取田畑が新田検地を受け一五石六斗一升二合・二町四反七畝二歩、文政2年(一八二〇)に堤外新田の検地で五石七斗七升三合・一町三反八畝九歩であつた(野口家文書)。天保6年(一八三五)次の総村高は四五八石八斗九升九合、家数五二軒、人別二五八人、名主役高が六八石五斗九升四合であつた(八条領村誌)。河川用排水路は、八条用水路一七〇間、古利根川中川筋築刈組合が一六七間等を管轄した。

開山専称上人が慶長5年(一六〇〇)に寂、天台宗円楽寺は「江戸浅草寺門徒」(新編武蔵風土記稿)で開山年不詳。円楽寺は、もと鶴ヶ曾根宝性寺(行人派)配下の寺院であつたが、「開基行人と申へ、乍恐 神君様エ御由緒有之候」(寺社掛り記録)と云われ、元禄年間(一六九七)に東叡山寛永寺の末寺となつた。また寛永4年の検地のおりは、御行塚の山王社(東照大権現)が徳川家康の鷹狩の聖地であるため、田畑七反が年貢除地とされた。神社は、円楽寺持ちの村鎮守稲荷社と山王社があつた。明治2年(一八六九)に小菅県、同4年に埼玉県管轄の村となる。同9年ころは、戸数52戸、人口三三六人、物産は「米悪悪六四三石三斗、大麦美質五〇六石二斗八升」や「茄子悪質千六百貫目、唐茄子美質三百五十貫目、葱美質二千四百貫目、青物類ハ総テ東京、千住駅ニ輸送ハン売ス、製造物、藁繩二千把」(村誌)であつた。

文芸欄

呉美代選

市民の皆さんの投稿をお待ちしています。

【応募先】〒340-8588 八潮市中央一-111 八潮市役所広聴広報課広聴広報係

詩

小さいラジオから 八條 杉村 知香
枕もとに置いたラジオから ふと童謡が流れてきた
里の秋だ
よく口ずさんだ曲だ
このころ小さいラジオを 傍らに置いて寝るようになった
ラジオを聞きながら眠ってしまう
夫もラジオを置いていた
ラジオからは
よく軍歌が聞えてきた
夫は十年ほど戦場に征つていたので
飲むと、よく戦争の話をしたものだ
戦死した戦友のことなど思つて
胸を痛めていたのだらう
その夫も今はない
(選)主人のこと戦争のこと思い出があまりですね

短歌

南川崎 伊本 則子
還暦が名を呼び交わすクラス会
子供にもどる秋雨の午後
鶴ヶ曾根 斉藤 道子
波蹴立て高速船は進み行く
奇岩の連なる仏ヶ浦を
南川崎 小野塚喜代子
生きものの動きたること白きもの
風に押されしビニール袋
柳之宮 平沼 良子
夕映えにまるめる熟れてこの秋も
母の命日まためぐり来ぬ
大曾根 椎野さち子
露草の短き命知りつつも
手折りし我れの心痛みぬ
中央一 猪瀬 利助
夕映えの茜の空に雁一羽
群れにはぐれて飛びていくなり

俳句

八潮六 佐藤 秀子
誕生日友から届いた花束の
一輪嫁におすそ分けする
坂 小澤千代子
見舞うたび横たわりたる義父の背を
さすりてわれも気持和らぐ
八潮七 佐藤 千和
秋風に小さくゆれし紫の
残り咲りなり朝顔の花
木曾根 高谷 多門
野鳥きてつばみし実を我れも食う
柿の実熟れて秋深まりぬ
《評》何度も口ずさみ、ひびきの美しさが
感じられるよう工夫なさって下さい。

八潮七 小倉 孝義
大輪やさらに大あり菊花展
木曾根 古根 昌明
競り声や秋刀魚あふれし朝の河岸
鶴ヶ曾根 平野 愛子
目新し地蔵の赤帽菊香る
緑町五 村田 恭子
仙台的青葉通りや冬木立
八潮八 石井 忠枝
柿の実に群がる百舌や過疎の村
緑町五 加藤 龍子
秋の夜のしじまを刻む鹿おどし
八潮八 栗原 幸子
さざんかや晴着おぼこの通る道
八潮六 藤崎 政子
冷えてみて十二単のごとくなり
大曾根 小倉 義孝
廃村の空屋の庭に柿赤し
大曾根 小倉 花子
今朝もまたあいさつ交わし落葉掃き

緑町五 藤波 ふみ
真菰枯れ用水路にも秋深む
大曾根 日方美代子
サイレンに大遠吠えの夜寒かな
八潮五 小林 光
寒空の月の光やあぜの道
中央三 宇津木勝子
ジョギングの夜寒の道に月明り
鶴ヶ曾根 沼野 あい
愛しきは間引きし蕪の紅の色
柳之宮 尼ヶ崎友江
紅葉狩り雪の舞いくる北の旅
大曾根 横山 英道
刈りし株黒くなりたり秋の雨
南後谷 小田三重子
秋深し真昼の風呂に長湯する
鶴ヶ曾根 斉藤 初子
柿をもぐ友横顔の童女めく
赤のまま挿してひとりの茶を入る

越谷市
○サンシティ・クリスマスコンサート
「ミレニアムの鐘」
●12月24日(日)、午後2時開演
●サンシティ・大ホール
●千年に一度の奇跡をテーマにしたミュージカルコンサート。オーケストラの生演奏。
●(指定席)1500円(自由席)大人1000円、小人500円
●サンシティ越谷市民ホール ☎85-1112

松伏町
○第3回松伏町キャピック展
社会復帰をめざす全国の刑務所受刑者の作品・即売会を開催します。
●12月16日(土)・17日(日)、午前9時30分～午後3時
●松伏町B&C海洋センター
●家具などの木工製品、革製品、金属製品、食料品などの展示即売、模擬店、ふれあい朝市(新鮮野菜の即売)など
●松伏町政策調整監付 ☎91-1815

行ってみいたいな となりまち
近隣4市1町のイベント情報をお届けします。
ぜひ、お出かけください。

草加市
○元旦松並木体操の集い
一年の計は元旦にあり・・・21世紀最初の元旦をラジオ体操で迎えませんか。
●1月1日(祝)、午前6時集合
●草加松原遊歩道※雨天時は草加市民体育館駐車場(遊歩道近く)
●みんなの体操とラジオ体操
●草加市ラジオ体操連盟 ☎27-8330

吉川市
○冬休み映画会
小さなお子さんから大人まで楽しめる映画を上映します!
●12月17日(日)、①午前10時～正午「クリスマスキャロル」・「トイストーリー2」 ②午後1時30分～3時30分「スノーマン」・「トイストーリー2」
●吉川市中央公民館大ホール
●無料
●吉川市中央公民館 ☎81-1231

三郷市
○第32回みさとマラソン大会
●平成13年2月4日(日)、午前8時30分受付
●三郷市総合体育館周辺
●小学生(4年生以上)1～1.4km=500円、中学生4km=500円、一般男子10km=1000円、一般女子4km=1000円、ファミリー1km=(1家族)1000円、シルバー(60歳以上)4km=1000円
●1月5日までに参加費を添えて
●三郷市社会体育課 ☎53-1111

郷土の歴史 364

八潮の地名考

南川崎の地名 その式



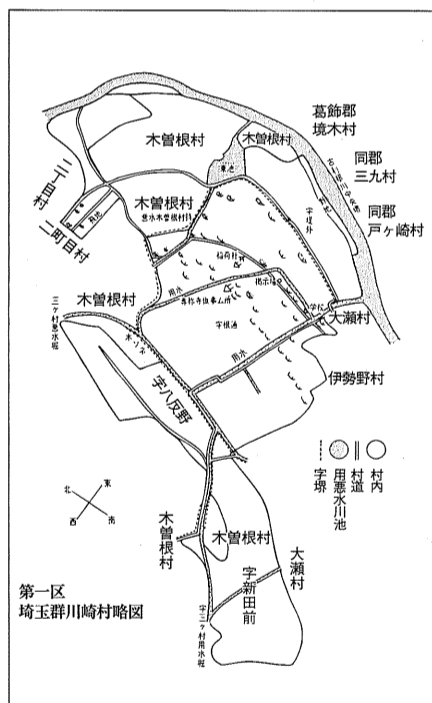
南川崎村 明治12年から同22年までの村名。明治12年の郡制にもない、南埼玉郡内に同村名の川崎村(越谷市北川崎)が所在したことにより、村名を区別するため、南川崎村となつた。そのため、南川崎を「川崎」と呼称する年長者が多い。

75人で、平成13年1月現在は3468人である。小名・字地名 近世期の『新編武蔵風土記稿』には小名は記されていないが、天保6年(1835)の『八条領村鑑』には、平次郎組と七郎兵衛組の二組が記される。平次郎組を「東通り」、七郎兵衛組を西通り、下木曾根への飛び地を根郷と呼ぶ小名(集落地名)があつた。また川崎村の五人組は7組に分かれ、根郷、それに東通りは通り・東・ドロ町、西通りは下・西川・三枚字に分かれて

いた。字地は、明治9年ころの地租改正時のおりは、八反野、新田前、堤外、根通り、現在の公園は八反野、堤外、根通りなどがある。字八反野、八反野は、八反の帆掛け船が沈没したことに因む地名。明治9年(1876)の『村誌』によると「本村ノ西北二アリ、南ヨリ北ニ巨ル、南北五町、東西五町二十五間」の湖止小学校付近から東側の区域。昭和12年(1937)の湖止耕地整理後の登記のあり新田前は八反野となり、7765970番地の範囲。字新田前 地租改正(明治9年頃)から昭和12年(1937)までの字地名で、大瀬・伊勢野・木曾根などの新田のうちで、川崎の新田地が、各地の新田の前(東)に位置することによる地名。『村誌』によると「本村西南二アリ、東ノ方ハ字三ヶ村悪水堀ヲ堺シ、西ハ木曾根村二堺シ、南ハ大瀬村ヲ堺ス、東西八町五十間、南北二

町四十間」と記される。湖止村耕地整理後は、字八反野に含まれる。字堤外 堤外は、中川の堤み外に因む地名。『村誌』によると「本村ノ東ニアリ、南ヨリ北ニ巨ル、南ハ本村悪水堀ヲ堺ヒス、北ハ字東池ヲ以テ堺トス、東ハ古利根川ヲ堺シ、西ハ本村ノ堤塘ヲ堺トス、南北五町、東西一町二十五間」と記され、130

91600番地の範囲。字根通り 根通りの「根」は、はじめ・みなもと・おこりなどの意で、『村誌』によると「字堤外ノ西ニ連続ス、村中人民此字地ニ住ス」と源の通り(古利根川自然古道)沿いの集落に因む地名。字地の大きさは「東西八丁十老間、南北五町十五間」で、15775番地の区域。明治9年『村誌』絵図



文芸欄

詩

鯛雲 八潮五 西森八重子 窓からの西陽が私を誘う 見上げると 空に魚の大群がひろがり 頭上で鯛雲のシヨロが始まった 鯛雲は 私のなかにも入ってきて もう一人の私が 空へ昇っていった

南後谷 杉村 セツ 霜の朝庭の草木に若芽見ゆ 春のおとずれ待ち居るごとく 鶴ヶ曾根 斉藤 道子 朱の衣裳蛇の目のなかのひと呼吸 玉三郎は白鷺となる 南川崎 小野塚喜代子 くれないに夕焼映ゆる筑波嶺の ふもとに白きソバの花咲く 南川崎 伊本 則子 孫の手に初雪そつとのせやれば とけゆくさまに歓声あべる 大曾根 長谷部由美 亡母に似し白髪・断髪、車椅子 眼追いつもかすれて見えぬ 八潮七 佐藤 千和 久びさに訪れし孫に似合うかと 亡母の形見で綿入れを縫う 八 條 小金丸美智子 初孫に羽子板求め浅草寺 落日早し夕暮れ急ぐ

南川崎 松谷 永子 亡き父のかたみとなりし年賀状 抱きしめて泣く師走の夕べ 大曾根 宗像ゆき子 三味線の音の聞こえる看板に 「江戸端唄 卵多」と女文字あり 八潮五 林 悦子 指先に琴糸の張り感じつつ 六段の調べ肅々と弾く 中央一 猪瀬 利助 朝露を踏みしめはげむウォーキング 黄金の稲穂に群がる雀 二丁目 田中 祐子 憂きことの重なりしとき電車など 乗り継ぎ実家の墓におもむく 木曾根 高谷 多門 吹雪く野の桜の季にまた逢おう ぶつきらぼうに友を慰む

俳句 二丁目 平井 石龍 三世紀知る松並木秋深し ダムの底沈む湯の街紅葉燃ゆ 中央一 山角 徹陽 はてぬ夢まだ二つ三つ初雀 八潮六 藤崎 政子 背なの児の寝息静かや落葉踏む 八潮七 村田 恭子 冬暁や彩とりどりの重ね雲 鶴ヶ曾根 平本 愛子 雪明り庭木の化粧夜のしじま 木曾根 古根 昌明 丈長も寸足らずもあり海日蕎麦 大曾根 小倉 花子 鬼も角も生き来しこの世の海日そば 八潮七 沼野 あい 参道の鈴切る音や初大師 八潮七 石井 忠枝 床の間の柱に寄り添う福寿草

緑町五 藤波 ふみ 心ある人の賀状に学びけり 大曾根 横山 英道 モズ鳴き来天高くして葦刈られ 大曾根 小倉 義孝 除夜の妻帯省の子らの煮物をし 八潮七 茂村 つ留 厳寒に東北の孫思いけり 緑町五 村田 恭子 ミステリー読みつづける冬の夜 緑町五 加藤 龍子 明日よりは豊ひと目の日永かな 八潮七 小倉 孝義 寒雀野良猫伏せてねらい待つ 柳之宮 尼ヶ崎友江 客去りて鏡開きに小豆炊く 南後谷 園田 博枝 新世紀明けてははたかく彩の国 鶴ヶ曾根 斉藤 初子 眉を剃る初日に鏡覗かれて 成人の門出清しく細雪

呉美代選

市民の皆さんの投稿をお待ちしています。 【応募先】〒340-8588八潮市中央一-211 八潮市役所広聴広報課広聴広報係

松伏町 〇アンサンブルオーケストラ・エローラ&芽ぐみのタベ 2月18日(日)、午後6時開演(午後5時30分開場) 田園ホール・エローラ(北越谷駅東口から「エローラ」行きバスで中央公民館前下車) ソリストを目指す「若い芽」(県立松伏高校音楽科生徒)とプロの共演 全席指定 一般2000円、高校生まで無料 松伏町文化振興事業団 ☎92-1001

行ってみたいな となりまち 近隣4市1町のイベント情報をお届けします。 ぜひ、お出かけください。 三郷市 〇明るい選挙推進のつどい 選挙功労者などの表彰のほか、女優藤田弓子さんが講演します! (手話通訳あり) 2月17日(土)、午後1時開場 三郷市文化会館(三郷駅北口徒歩13分) 800人(申込順、申込者に整理券を郵送) 無料 2月9日(金)までに三郷市選挙管理委員会へ ☎53-1111

越谷市 〇第17回越谷市郷土芸能祭 3月4日(日)、午後0時15分から4時30分 サンシティ・小ホール(新越谷駅東口・南越谷駅南口下車徒歩3分) 市内の神楽やお囃子などの郷土芸能を実演 無料 越谷市教育委員会社会教育課 ☎63-9283 吉川市 〇男女共生フォーラム バレンタイン in Yoshikawa~男女共同参画ってなあにあなた自身のこととして~ 2月11日(日)、午後1時から4時 吉川市民交流センター「おあしす」(吉川駅北口から吉川きよみ野行きバス「おあしす前」下車) オープニングコーラス、講演、寸劇、バンド演奏など※保育あり(事前申し込み必要) 吉川市市民参加推進室 ☎82-9498